

支援プログラム

事業所名

児童発達支援とものわ親子教室

作成日

令和7 年

1月

31日

法人（事業所）理念		人々の日常に夢と希望と信頼のネットワークを築き、快適で笑顔のある生活環境を創造することに努め社会に貢献します	
支援方針		<p>○個々の発達の状態や特性に応じて、今の困りごとの解決と、将来の自立と社会参加を目指して支援します</p> <p>・一人ひとりの発達に合わせて支援 ・できることを増やしたり、隠れている力を引き出す ・できた！を積み重ね、チャレンジする心や意欲を育てる</p> <p>○ご本人と保護者が安心し、信頼して頂けるような関係づくりを目指します</p> <p>○保護者の気持ちに寄り添い、保護者自身のほっと安心出来る居場所の一つとなることを心掛けます</p>	
クラス		親子小集団療育	小集団療育
営業時間		9 時 00 分 ～ 11 時 00 分	11 時 00 分 ～ 15 時 00 分
送 迎		なし	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	信頼出来る大人と過ごし、心身の健康を育む	
		屋内活動…はじまりの会、親子でふれあい遊び、リズム体操、設定活動、自由遊び 屋外活動…公園、プール(夏)の活動	屋内活動…はじまりの会、ふれあい遊び、リズム体操、設定活動、自由遊び 屋外活動…公園、プール(夏)の活動
	運動・感覚	大人と様々な感覚遊びを楽しみ、脳の発達を促す	
		体幹やバランスを意識したふれあい遊びや色んな素材を使った感触遊びを親子で体験する	五感を意識して手先を使ったり、道具の使い方を学び、集中力を養う (手先のあそび、戸外活動等)
	認知・行動	自分で考え行動できる力を養う	
		人の話を聞いたり、周囲の様子を見て、自分で考え行動できる力を養う 例) 製作→職員の手本を見る／設定活動→ルールを理解する	認知の発達を促していく、児に合った課題を提供し、達成感を体験する
	言語 コミュニケーション	思いや考えを相手に伝える手段を身に付ける	
		児の感情に気付き、表現しようとしていることを受け止める。適切な要求表現、自分の思いを伝える言葉を具体的に示し、一緒に伝える練習をする	整った環境の中、他児と関わりコミュニケーションを取る力を育む
	人間関係 社会性	集団生活におけるルールやマナーを知り、社会性を育む	
		活動や遊びを通して他者と関わり、集団生活に必要なルールを知る	小集団の中で他者と一緒に遊ぶ楽しさを知る
	家族支援	<p>安定した親子関係を築く</p> <p>・ご家庭での困り事は、保護者の気持ちに寄り添い、解決策を一緒に考える</p> <p>支援場面に保護者も参加し、観察、フィードバックをして子の理解に繋げる 保護者交流会を行い、保護者間で悩みを共有したり考える場を作る</p>	
		連絡ノートや面談等で日々の様子や支援内容を共有する	
	移行支援	<p>本児・ご家族が安心して生活できるよう支援する</p> <p>・併用機関や移行先への情報提供を図る ・本児やご家庭の思いを汲み取り、スムーズに次のステップへ移行できるよう助言を行う</p>	
地域支援・地域連携		幼稚園・保育園、他療育施設と日々の様子や支援内容を共有し、適宜連携を図る	
職員の質の向上		外部のオンライン研修を受講し、研修内容を職員間で共有する 施設内研修を開き、日々の支援内容に繋げる	<p>主な行事等</p> <p>季節の変化を感じられるよう、その季節に沿った活動内容を取り入れる (季節の製作、おまつり、プール、ハロウィン、クリスマス、お正月遊び等)</p>